

京都産業大学との連携講義

令和4年10月18日

～地域づくり人特別講義～

ちほめんnews VOL. 9 8
近畿財務局京都財務事務所

概要

当局の地域連携の活動等をゼミ内で紹介するなどの取組を継続的に実施し、かねてから繋がりが深い京都産業大学。

同大学経済学部の菅原教授から、「地域づくり人特別講義（全15回）」（※）の設立に協力してほしいとの依頼をいただいたことから、当所のちほめんが講師として教壇に立ったほか、当所のネットワークを駆使し、地域のキーパーソン4名を外部講師としてご紹介しました。

講義では、異なる分野で活躍する講師それぞれの目線で、地域づくりの現場から見た社会を切り口に、学生たちにメッセージを届けました。

※ 地域づくりのキーパーソンを講師として招聘し、その地域が抱える課題、取組の経緯・苦労・成果などの講義を通じて受講生が地域づくりについて多面的に考察する能力を身に付けることを目的とした新規科目。

地域づくり人特別講義



地方創生ってなに？
地域の活性化ってどういうこと？
地元就職してあなたは何をしたいの？
地方公務員になったら地域に貢献できるの？
皮相浅薄に言葉を並べるのではなく、
リアルを知ろう。
あなたが地域づくり人としての一歩を踏み出すために。



地域のキーパーソン

講師派遣



講師依頼

連携



近畿財務局
京都財務事務所

京都財務事務所による特別講義 (令和4年5月10日)

京都財務事務所から派遣した講師
(ちほめん) から、近畿財務局の業務
や地域連携の事例を紹介するとともに、
職員の業務体験談を説明しました。



地域のキーパーソン

これまでの地方創生の取組を通じて、地域のキーパーソンに会うこともありました。
一体どのような人だったのか。

- ▶ 熱意 (自分の思い・地域愛・プライド・即応性etc)
最終的に物事を前に進められるかは、「熱意がどれだけあるか」ではないでしょうか。
- ▶ 人間力 (誠実・逃げない・調整力/協調力・ユーモアetc)
キーパーソンは「この人すっげえな」と感銘を受ける方が多いのですが、どの方も人間性が素晴らしいです。小さなことでも気持ちよく仕事ができる方ばかりでした。
- ▶ 今後こうしたキーパーソンと一緒に仕事がしたい。
そのためには自分自身の知見を高めることも必要

▶ 通常業務をこなしつつも、頭の片隅に「地域貢献」

今後就職するにあたって、地域貢献とは全く関係ない業務を任されることもあるかも知れません。
それでも頭のどこかで「これって地域のためにならないか」をインプットしながら業務を行う（それを頭に入れて業務するのと入れないで業務するのでは大きく違う）。

「いつか芽が出るかも？」の経験を活かすも諦めず自分次第

最後は事前課題としていた「地域に貢献する企画を考えよう！」を学生たちに発表してもらいました。地元の課題を解決するべく考えられた企画など、学生ならではの視点で、身近な課題に切り込む企画が多く、学生の地域に対する熱い思いを感じることができました。今後、実際に地域づくりの取組に関わる一歩を踏み出してくれることを期待させてくれました。

学生たちが考えた地域貢献企画

●奈良ハイエンド観光計画

課題：奈良には宿泊施設が少ないことから、日帰り観光がメインとなっており、京都や大阪に宿泊客が流れてしまっている。

- ▶富裕層をターゲットとした個性的な高級ホテルの誘致を軸とする「ハイエンド観光」を提案。知名度とブランドイメージの向上を期待。

●吹田くわい大会

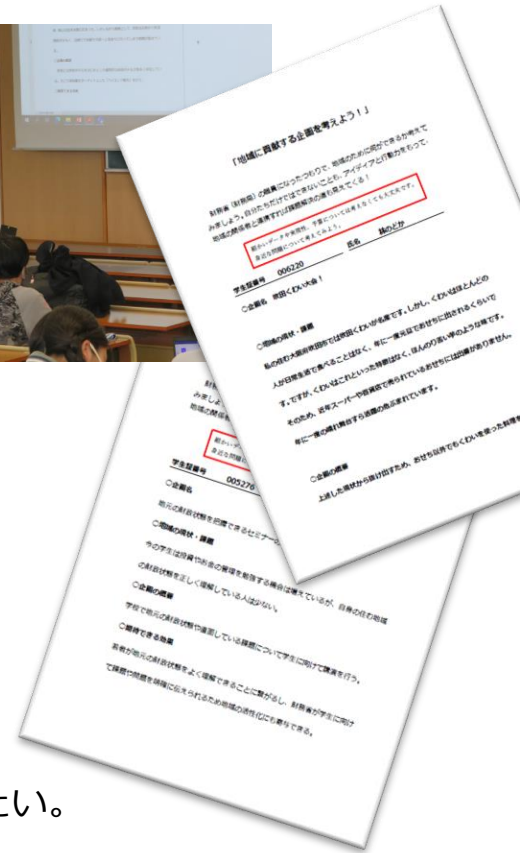
課題：吹田市名産のくわいの活躍の場は、年に1度の「おせち」のとき。それ以外のシーズンでは、店頭等で見かける機会が少ない印象。

- ▶おせち以外の出番を編み出すため、吹田で一番広い市民ホールで「くわい創作料理大会」を開催。まずは吹田市民にくわいの魅力を知ってもらいたい。

学生の感想

・地域の課題を把握できていないと核心に踏み込むことができないので、地域の「今」を知り、危機感や関心を持つことが、地域の課題を解決する第一歩だと思った。

・本日の講座を受講し、財務局職員などが地域連携のために全力を尽くす様子を見て、自分自身も公務員として就職できた際には、地域の問題解決の足掛かりになるような活動に取り組みたいと思った。



京都産業大学経済学部 菅原教授
(地域づくり人特別講義 企画責任者)

京都財務事務所から紹介した講師の方々



第7回 「女子会の、その先へ・・・」 クロスオーバーネットワーク 公認会計士・税理士 伊藤 弥生 氏

これまでの活動内容や女性ばかりのグループでうまくやるコツなど、人生のためになる話をさせていただきました。数々の講演経験があり、資料の作り方や進行は天下一品。学生からもプレゼンのコツについて質問されていました。

第8回 「『希望』が未来を創り出す」 アマタホールディングス株式会社 地域クリエーションチーム チームマネジャー 根来 宏行 氏

豊富な経験から資源の循環と、人與人（地域）とのつながりの大切さを説明いただきました。元教師ということもあり、学生たちも熱心に聞き入っていました。



京都財務事務所から紹介した講師の方々

第13回 「自分でつくって、自分で食べる。」 株式会社マイファーム 代表取締役社長 西辻 一真 氏

生い立ちから起業されたきっかけ、ご自身の哲学、会社を経営する上で経験されたポイントとなる出来事やそれから学んだことなどを楽しく、わかりやすくご説明いただきました。講義終了後には多数の質問が寄せられるなど関心の高さがうかがわれました。



第15回（最終回） 「REVICが目指す地域の活性化 ～ヒトとカネを通じた企業の支援」 株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC） 代表取締役専務 渡邊 准 氏

REVICが行うファンドを通じた地域経済の活性化支援の概要や、具体的な事例についてご説明いただきました。これまでの授業で各地域の活性化等について学んできた学生は、本講義を受講し更に地域活性化についての理解が深まったようでした。

最後に

京都財務事務所では、これまでも京都産業大学と連携し、地域連携をテーマとした取組みを進めてきました。学生の街・京都で、これからも地域の課題解決のため、事務所一丸となって地域貢献に取り組んでまいります。

近畿財務局京都財務事務所
TEL：075-752-1417
E-maii:kyoto-soumuka@kk.lfb-mof.go.jp